

検討会及び検討WGの経過報告

資料-1

No	テーマ	発言者 (敬称略)	0703第2回有識者検討会 指摘事項	事務局からの返答	0716第3回WGにおける意見概要	整備方針案 と今後の対応
1	防潮堤計画	平野	巨大構造物はいかに風景に納めるかが大事。海岸防潮堤のラインは左岸右岸が連続しているように見えると一体感が出る。堤防の基本システムは変える必要は無いと思うが、風景に納めるためには高さ・諸元を少し柔軟に考えた方がよい。	堤防位置については、民地のご協力をいただくことが前提(用地買収)。今の計画は用地協力をいただける中で、いっばいまで下げている計画となっており、位置は変えにくい都合がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・中島海岸の防潮堤を現計画より引くと、濁りが入りやすくなりアワビなどに影響が出る可能性がある。 ・堤防のセットバックにより塩害の拡大が懸念される。地元では家の屋根、車、農作物など塩害の影響が非常に大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中島海岸の防潮堤については、現在位置での整備を基本方針とする。 ・津谷川右岸防潮堤について、景観面からの配慮から法線を工夫する余地を検討する。
		平野	左岸の海岸防潮堤は、せっかく後ろ高台があるので、これを利用するとずいぶん土量が減ると思う。B/Cの問題が話題となっているので、経済的な観点からも工夫が必要。	風景に納めるというご指摘の中で検討するが、地域の方のご意向を伺いながらの対応となるので、この場で即答できない。 今村;様々な諸条件がある中での検討ということで理解していただきたい。		
3	高水敷整備	平野	市民の皆さんに見せる図面は、工事の設計図ではなく、パース図などを使って、出来上がる景色もっとイメージできるような図面づくりをしていただけると良い。	今村;ご意見いただきました。ありがとうございます。	<ul style="list-style-type: none"> ・高水敷と低水路の間の段差の部分が斜めになると、海藻などがついて滑って危ないので、階段状にしてもらった方がよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高水敷については、現在の整備計画を基本方針とする。 ・かごマットを基本とするが、埋め戻しによる植生への配慮や、階段状にして人の利用へ配慮するなど、現場・詳細設計で柔軟な対応をしたい。
		鈴木	現状でもヨシ原が形成されている場所があり、そのような場所は生物の生息場になっている。施工の際には、なるべく現状の良い環境を壊さない工事や位置にするなどの配慮をお願いしたい。	今村;アドバイス。ありがとうございます。		
5		平野	現在複断面で計画されている河道計画を、単断面・低水路護岸を出しての計画に再検討すべきでは。	治水計画上は難しい		

検討会及び検討WGの経過報告

資料-1

No	テーマ	発言者 (敬称略)	0703第2回有識者検討会 指摘事項	事務局からの返答	0716第3回WGにおける意見概要	整備方針案 と今後の対応
6	外尾川河口部の整備	鈴木	広い干潟を残すことで塩性湿地、砂、泥干潟と多様な環境が残りそう。実際の環境がどうなるかについては、事後のモニタリングは必要。 その意味で、外尾川の河口部の形状は工夫が必要。	外尾川河口右岸側の現在湿地になっている場所を、ゆるやかにすりつけるなどの工夫は可能。	<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤を引いて、津谷川右岸の前面を広くとると、津谷川の河口閉塞が強くなり、サケの遡上や漁に影響する可能性がある。 ・中島海岸の砂の動きは複雑であり、既設により砂浜は激しく変化する。 ・平野先生から大胆な提案をいただいております。文字だけではイメージがしにくいので、図面などで示して欲しい。 ・堤防天場や堤防下の道路は端の部分でUターンができるようにして欲しい。 ・用地買収の進捗状況は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・津谷川右岸の湿地については、震災前の従前の姿に近い湿地帯に戻すことを基本方針とする。 ・津谷川右岸防潮堤について、景観面からの配慮から法線を工夫する余地を検討する。 ・具体的なイメージとして、事業後の景観イメージパースを提示。 ・用地買収は整備方針案が固まった段階で、地元へ再度ご説明し、ご理解を得ていきたい。
		鈴木	保安林で計画されている場所は、現在湿地になっている場所であるので、保安林を造成して本当に上手くいくのか。	保安林の実用性については、WGでも議論があったが、住居に対する塩害の軽減という観点から、従前のようにあった方が良いという結論を得た。 整備にあたっては盛土したうえで植栽することになる。		
		平野	右岸堤防をJRまで引いて、干潟を堤防の外(海側)に出す方法は無いのか。堤防に囲まれた干潟・湿地帯というのは景観的に違和感がある。	鈴木;震災前もそのような環境であった。 外側は波が荒いので、干潟の維持が難しい。 高橋;震災前と同じような形で残そうと地元WGで話が進んでいる。稲作の関係で、地元ではどうしても防潮堤が欲しいというもある。 今村;この検討会で基本的なデザインを議論するというのは、検討会のミッションの対象外。		
		鈴木	平野先生の案(今の堤防を導流堤という形で残して、防潮堤そのものを後ろに引くような形)が出来るようであれば、干潟の景観としては確かに良くなると思う。			
10	海水浴整備	平野	駐車場の周辺の高台の周辺に、窪地・谷ができる。駐車場を少し寄せて縦に長い駐車場にして、窪地が残らないような計画の方が景観的には良い。	<ul style="list-style-type: none"> ・万が一のことがあるので、車の転落防止のために、駐車場は防潮堤より少し低い位置の方が良い。 ・震災前も駐車場からは海は見えなかったため、駐車場からいきなり海が見える必要は無いのではないかと。 ・震災慰霊碑や復興の鐘など、若者や人を引きつける工夫が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の高さ、施設配置については、気仙沼市で今後詳細設計時に検討する。 	
		平野	観光客が駐車場に止めた時に、海が見えるような工夫(地盤のかさ上げ)があると良いのでは。堤防を山に寄せて土量が減った分をそちらに回すという作戦はとれないか。			
11						

検討会及び検討WGの経過報告

資料-1

No	テーマ	発言者 (敬称略)	0703第2回有識者検討会 指摘事項	事務局からの返答	0716第3回WGにおける意見概要	整備方針案 と今後の対応
12	中島海岸・津谷川の事業全体	平野	事業のできあがり想定で、こんな景色ができるんだというのを市民の皆様に見せながら検討するのが基本だと思う。	航空写真でイメージパースをつくるように工夫してみる。	-	・外尾川河口の湿地帯について、事業後の景観イメージパースを提示
13		平野	バック堤の形状も含めて、この地域の模型(スタディー模型)を造って欲しい。パースだと視点が限られるので立体的な認識になかなかつながらない。模型で議論すると、工事が始まってから「イメージが違う」と言われることも防げる。	今村;ご要望としていただきました。今村;提示している計画資料は、前回の第1回にも提示したものであり、ご意見はごもっともではあるが、この場での審議は難しい。ご指摘をまとめていただければ、事務局再度で検討できるところ、できないところの仕分けはできる。		